

平成 29 年度 「千代田学」事業実績報告書

小学生を対象にした千代田区の地域素材の 教材化に関する実践的研究

— 「千代田区子ども検定」の作成・発信 —



共立女子大学家政学部児童学科

本澤 淳子

平成 29 年度 「千代田学」事業実績報告書

小学生を対象にした千代田区の地域素材の
教材化に関する実践的研究

— 「千代田区子ども検定」の作成・発信 —

共立女子大学家政学部児童学科

本澤 淳子

小学生を対象にした千代田区の地域素材の教材化に関する実践的研究

— 「千代田区子ども検定」の作成・発信 —

目 次

| | |
|-----------------------|----|
| はじめに | 1 |
| I 本事業の概要 | 5 |
| 1 事業の名称 | |
| 2 事業の目的 | |
| 3 千代田区との関連性 | |
| 4 事業を行う目的及び目指す最終的な到達点 | |
| 5 調査・研究の手法 | |
| 6 成果の発表・活用方法 | |
| II 前年度の研究概要 | 8 |
| 1 検定問題の試作から「お試し版」の作成 | |
| 2 研究の成果と課題 | |
| III 本年度の研究 | 11 |
| 1 「千代田区博士チャレンジ版」の構成 | |
| 2 「なるほどメーター」による児童の意識 | |
| 3 検定を受けた児童の感想 | |
| IV 研究の成果と課題 | 28 |
| 参考文献 | 30 |
| 終わりに | 31 |

資料編 「千代田区子ども検定 千代田区博士チャレンジ版」 (実寸
×115%)

はじめに

1 小学生は未来の地域の担い手である

■「千代田区子ども検定」の作成・発信

本事業により作成・発信しようとしている「千代田区子ども検定」は、小学校の社会科、総合的な学習の時間等における学習指導を前提に、これをさらに生活化、日常化することを目的とした「地域素材の教材化」の一つの方法である。

児童は、千代田区について、各教科等の学習指導や学校行事、地域行事を通して学び、また、日々の生活においても、地域の文化、歴史、自然等さまざまな体験を重ねて学んできている。千代田区についてのこうした学習や体験を、「千代田区子ども検定」という視点から構成して児童に提供するのがここでの主たる研究内容である。

この検定を楽しく体験することにより、児童は、身近な地域についての知識をより確かなものにしたり、新たに知識を獲得したりすることができるだろう。「検定」を体験することを通して、「千代田区についてはよく知っているつもりだったけれど、こんな歴史があることは知らなかった」、「自分でももっと詳しく調べてみたい」、「このお祭りに家族で出かけてみたい」などのように、千代田区への愛着・親しみ・誇りがより一層高まることが期待される。

■千代田区の児童にとっての「ふるさと」

現行小学校学習指導要領（社会）では、第3学年及び第4学年の目標として、「地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。」、「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。」、「地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」の三つが示されており、地域社会の学習の主題とされている。

また、総合的な学習の時間においても、小学校学習指導要領「第3 指導計画の作成と内容の取扱い1.（5）」では「学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や

学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。」のように、地域教材を土台とした学習活動が奨励されている。

本事業は、児童の学習や生活を中心として、同心円上に広く位置づくものであるから、上記の下線を施した部分についてはここでも重視する必要がある。下線部の「地域社会」を「千代田区」に置き換えると「千代田区の一員としての自覚」、「千代田区に対する誇りと愛情」となる。これは、本事業のキーワードでもある。

小学生は、10年後、20年後には社会の担い手として活躍する人材となる。千代田区で育った児童は、この地で、あるいは千代田区から日本各地、世界へと羽ばたき活躍することだろう。その児童の「ふるさと」がこの千代田区である。「ふるさと」の言葉から私たちは都会から離れ自然に囲まれた土地を思いうかべてしまいがちであるが、千代田区で学ぶ児童にとってのふるすとは、この現代的な街、日本の中心とも言えるこの地である。児童がこの千代田区にさらに愛着をもち、誇りをもつこと、言わば「ふるさと意識」の醸成は、一人一人を豊かに確立させるだけでなく、将来の千代田区の発展に寄与することにつながるものである。

2 「千代田区」に関する地域素材の教材化

■地域素材を教材化することの意義・課題

地域は、児童にとっての遊びの場であり、生活の場である。そこで、児童はさまざまな事象・事物に直接ふれている。「地域」とはこのように児童にとって極めて身近なものであるが、これを教材化する有用性については、次のように考えることができる。

- ・児童の生活の中から出てきた経験を活用・尊重することができるため、学習に対する興味・関心や意欲を高めることができる。
- ・課題に対して、児童自らが調査したり、資料の収集・作成等を行ったりすることも可能であるため実感をもって取り組むことができ、主体的な学習活動が期待できる。
- ・児童の生活経験の中から生まれた意識と結んで考えることにより、児童と事象・事物との距離を縮めることができる。
- ・地域と自分とのつながりがより明確になり、地域社会の一員としての自覚を促すことができる。

このような意義が挙げられる一方で、地域学習における教材開発には以下のような難しさも想定することができる。

- ・教科書（副読本）の事例と自分たちの住んでいる地域の事例とが異なるために、教科書を十分に活用することが難しい。
- ・地域学習を進めるにあたって、指導者がその地域を知り、学習に適した地域素材を見つけ、その地域素材を教材化し授業を展開するのは容易なことではない。教材化を図るといっても、その方法がわからないといった声も多く聞かれる。地域教材の開発に必要な地域観察力やフィールドワーク技法を身につけることが望まれる。
- ・実際の授業場面においても、見学やまとめることに時間を費やしてしまい、「調べっぱなし」、「資料を書き写しているだけ」のような、学習のねらいに迫りきれていないケースも見られる。

このように、指導者は、時間的な余裕がない、指導者自身が地域を十分に知らない、といった悩みを抱えながら、地域学習の指導にあたっているのが現状であると言ってよいだろう。

■大学生だからこそできる地域教材開発を

共立女子大学家政学部児童学科・本澤ゼミの学生の多くは小学校教員を目指している。いずれ、それぞれが採用された地で、地域素材を教材化する必要に迫られることもあるだろう。そこで、「学生に共通するふるさと」として本学の所在地である千代田区を取り上げて、地域教材の開発を実際に行ってみることを計画した。

現職の教員に比べれば時間の余裕もあるこの時期だからこそ、フィールドワークにも取り組むことが可能である。インターネットで調べれば情報が容易に入手できる時代であるからこそ、自分自身で見聞きし、地域の方々と実際にふれあいながら情報を収集し、地域学習の醍醐味を味わいながら教材開発を行うよさを知ることできるだろう。

ここでの「地域教材の開発」とは、単に地域の興味深い素材を見つけ出してくることを意味するものではない。素材を見いだすことはもちろんであるが、児童が行うであろう学習活動（課題の設定から調査、情報の構成、発信までの一連の情報処理活動）をゼミ生が実際に進めてみる、すなわち、学習者の視点に立った地域教材の開発を行うことを意図している。

具体的には、本澤ゼミ生が、千代田区の文化・歴史・自然等について学習者の視点で調べ、収集した情報をクイズとして構成する。これを「千代田区子ども検定」として、小学生中高学年及びその保護者を対象に発信し、実際に検定問題を楽しく解いてもらおうとするものである。

■「千代田区子ども検定」の作成・発信

10年ほど前になるが、「ご当地検定」が脚光を浴びた時期があった。たいへん有意義な取り組みであるにもかかわらず、一時の流行として扱われる傾向も見られたのは残念なことであった。しかし、日本商工会議所認定のご当地検定は現在も多くが継続され、この数年で新たに生まれた検定もある。ご当地検定は、その地に暮らす者が自らの郷土愛を「検定」で試してみるという仕組みそのものが楽しく、また、検定を受けることによって新たに知識を得る機会にもなる。千代田区は、江戸時代から日本の中心となってきた地であり、文化や歴史も検定問題として掬い取れないほど豊かな地域であるが、千代田区の魅力を検定によって児童に少しでも伝えたいと考える。

本事業では、本澤ゼミ生が学習者の視点に立って千代田区についての情報収集を行い、「千代田区子ども検定」として発信する実践的研究を行う。検定を受ける対象を、千代田区の小学校中・高学年児童とその保護者と想定し、また、最終的には検定問題を特設ホームページによって公開し、いつでも楽しむことができるものにしていく計画である。

I 本事業の概要

1 事業の名称

小学生を対象にした千代田区の地域素材の教材化に関する実践的研究
—「千代田区子ども検定」の作成・発信—

2 事業の内容

千代田区について、児童は各教科等の学習指導や学校行事、地域行事を通して学び、また、日々の生活においても、さまざまな体験を重ねながら地域の文化・歴史・自然等を学んできている。千代田区についてのこうした学習や体験を、「千代田区子ども検定」として構成し、児童に提供するのが、主たる研究内容である。

具体的な取り組みとしては、以下のようなになる。

- 公立女子大学本澤ゼミの学生が中心となり、小学生（小学校中・高学年児童）の視点から千代田区の地域素材（歴史・文化・自然等）について取材・調査等の情報収集を行う。
- 収集した情報をもとに、「千代田区物知り博士」を目指す「千代田区子ども検定」を作成する。
- 「検定」は、冊子による部分公開を通して小学生に適した内容となるよう改善し、最終的には特設ホームページで公開する。

千代田区内の小中学生やその保護者が「検定」を楽しく受けて地域のすばらしさについて語り合い、千代田区についてさらに理解を深めたり、千代田区への愛着・誇りをより高めたりすることを意図するものである。

また、「検定」を作成するからには、学生にも千代田区について熟知することが求められる。一連の研究活動を通して、学生も千代田区を「第二のふるさと」として親しむようになることが期待される。

3 千代田区との関連性・区政や地域への貢献

本事業により作成・発信しようとしている「千代田区子ども検定」は、小学校における社会科、総合的な学習の時間等における学習指導を前提に、これをさらに生活化、日常化することを目的とした「地域素材の教材化」の一つの方法である。

「千代田区物知り博士」を目指す「千代田区子ども検定」を楽しく体験することにより、

身近な地域についての知識をより確かなものにしたたり、新たに知識を得たりすることができるだろう。「千代田区について知っているつもりだったが、このような歴史があるとは知らなかった」（身近な地域についての知識）、「もっと詳しく調べてみたい」（興味・関心）、「このお祭りに家族で出かけてみたい」（知識→行動化）のように、千代田区の一員としての誇り、千代田区への愛着や誇りがより高まることが期待される。

平成 28 年度、区内小学校に在籍する第 3～6 学年児童に「千代田区子ども検定・お試し版」を配付し、正答の状況を把握した。第 3 学年が 55%、第 4～6 学年は 64～65%と、第 4 学年以上は学年が進んでも正答率は横ばいであった。地域についての情報収集力や行動力が飛躍的に伸びると考えられるこの時期に、地域に関する情報が増加していない児童の現状から、地域との結びつきが希薄になっている現代の子どもたちの生活も見えてくるようである。

こうした状況であるからこそ、「地域素材の教材化」を推進する意義がある。「検定問題」はその一つの方策であるが、地域への意識化は、地域で児童の現状を明確に共有し、地域をあげて取り組むべき課題であろう。

4 事業を行う目的及び目指す最終的な到達点

- 千代田区の歴史・文化・自然等について、小学生の視点からフィールドワークを中心とする情報収集を行い、その情報をもとに児童及びその保護者を対象とした「千代田区子ども検定」を作成・発信する。
- 千代田区小学生親子が「千代田区子ども検定」を受ける楽しさを味わいながら、「わが町・わがふるさと 千代田区」の歴史・文化・自然のすばらしさを実感し、郷土への愛着・誇りがさらに高まることを目指す。同時に、検定を提供する学生側にも「千代田区」への親近感が増すようになる。

5 研究計画・研究方法

本研究は、平成 28 年度から 3 年計画として、共立女子大学本澤ゼミの学生を主体に、以下のような方法・手順を進める。

- 小学生の視点に立った文献研究、情報収集

区内の小学校中・高学年児童にとって、千代田区についての情報源となっていると考えられる資料を収集・精査し、小学生の視点から素材を選定する。資料としては、『社会科副

読本 わたしたちの千代田区』(千代田区教育委員会発行)、千代田川柳絵葉書かるた、千代田区ホームページ、千代田区観光協会ホームページ及び同協会が配布している観光案内、各小学校学校要覧等が考えられる。これに現地調査も加えながら、素材の選定を行う。

○交流の生まれるフィールドワーク

・選定した素材について、ゼミ生が地域の方々と交流し地域の実情等を把握しながら、取材、聞き取り調査、写真撮影等を行う。

・千代田区教育委員会、千代田区立小学校、町内会役員の方々に、地域の現状などについて助言・指導をいただき、より児童の興味・関心に即した内容とする。

○地域の情報を「千代田区子ども検定」として構成・発信

検定問題は、「問題—選択肢(四択)—答え—解説」の構成とする。ゼミ生が撮影した画像を挿入したり、解説には「ここで一句」を添えて情報がより印象的になるようにしたりして、楽しく興味をもって検定を楽しめるような工夫をする。

発信については、冊子による部分公開を経て、最終的には特設ホームページでの公開とする。

6 成果の発表・活用方法

区内の小学生とその保護者を主たる対象に、「千代田区子ども検定」として以下のような方法で発信する。

○平成 28 年度

小冊子による「お試し版」として作成。千代田区立小学校第3～6学年児童全員に配付し、解答の状況を把握する。また、児童、小学校関係者等から実際に解いて気づいたことや改善点等についてアンケート調査を実施する。

○平成 29 年度(本年度)

アンケート結果をふまえて検定問題を改善するとともに、検定問題数をさらに増やし、「千代田区博士チャレンジ版」として千代田区立お茶の水小学校で実施。個々の解答の状況、検定問題に対する興味・関心等を把握する。

○平成 30 年度

検定問題を特設ホームページで公開し、家庭や地域でいつでも楽しむことのできる「検定」として提供する。

Ⅱ 前年度の研究概要

1 検定問題の作成から「お試し版」へ

千代田学事業の初年度にあたる平成 28 年度は、千代田区についての情報収集が大きな課題であり、検定問題の作成にあたっては、児童の興味・関心、生活や学習の実態の把握を重視し、情報収集を進めた。千代田区教育委員会、千代田区立小学校等の協力や指導を得て、検定問題の試作を行い、その中から 10 問を「お試し版」として冊子にまとめた。

他の自治体による「子ども郷土検定」を参考に、検定問題の構成は、「問題—選択肢（四択）—答え—解説」とした。その他、検定問題の難易度の目安を「★」の数で示したり、「ここで一句」を添えて情報がより

印象的に提示したりするなどの工夫を加えたことが、「千代田区子ども検定」ならではの特色と言えるだろう。これは、発信にあたって、児童の「楽しさ」や「興味・関心」を第一に、郷土への意識を醸成することを意図したためである。



千代田区子ども検定・お試し版（全 10 問）で取り上げた内容は、以下のようである。

- ① 千代田区歌の歌詞
- ② 東京駅の丸の内駅舎・南北ドームのデザイン
- ③ 靖国神社にある標本木
- ④ 錦華小学校（現・お茶の水小学校）出身の人物（夏目漱石）
- ⑤ 神田神保町の古書店の数
- ⑥ 日本武道館の屋根
- ⑦ 北の丸公園の天然記念物
- ⑧ 千代田区で行われている日本三大祭（神田祭）
- ⑨ 国会議事堂の工事にかかわった人数
- ⑩ ラジオ体操発祥の地（佐久間公園）

2 研究の成果と課題

「千代田区子ども検定」の第一次案として、「お試し版」を作成・発信し、その過程及び結果から、以下の点を明らかにすることができた。

(1) 地域素材の教材化、発信の必要性

「千代田区子ども検定・お試し版」における全 10 問の学年ごとの正答率を見ると、第 3 学年が 55%、第 4 学年から第 6 学年は 64~65% という結果であった。これは、学年が進んでも地域に関する情報獲得が充実するとは限らないということを示している。

「お試し版」では問題数が 10 問と極めて少ないため断定することはできないが、情報収集力、行動力ともに大きく伸びると考えられるこの時期に、地域に関する情報が増加していないとするならば、児童が地域素材にふれる機会を積極的に設け、地域への愛着や誇りを実感できるよう働きかけていくことは極めて重要である。「地域素材にふれる機会」は多様に想定することができるが、「千代田区子ども検定」を作成・発信していく試みもまた、ささやかながらその機会の一つとして意義あるものと考えられることができるだろう。

(2) 検定問題作成の視点

「お試し版」の作成を経て、検定問題の作成においては次の視点が必要であることが改めて確認された。

① 検定問題に盛り込む情報の質

ゼミ生が作成した検定問題を検討していく中で、「何を問うか」は常に課題となったことである。同じ対象を取り上げるにしても、何にスポットを当てて問題を構成するかによって、検定問題としての質の良し悪しが変わる。情報を提供する側に十分な知識が必要であることから、検定問題発信に向けて責任ある情報収集に努める必要がある。

② 児童の側に立った検定問題作成

作成した検定問題の中で、児童の生活や学習の実態とかけ離れている問いにおいては児童が勘に頼って答えていると思われる状況も見られ、大きな反省点であった。問題作成に当たっては、単なる情報提示にとどまることなく、児童が楽しみながら取り組める内容にしていく必要がある。そのためには、千代田区観光協会等との接点を増やしたり地域のイベントに積極的に参加したりして、地域の情報を入手する努力を重ねることが大切であろう。児童の日常生活や学習などに密着した問題作成には、作成者自らが地域に親しみをもつことが不可欠である。

③ 検定問題における固有名詞、難語句等の提示方法

地域素材には、地名や人名などが多く含まれるが、これが児童にとって大きな抵抗になる。また、児童にわかりやすい言葉に言い換えようとする、反対にわかりにくくなってしまうということもある。「お試し版」は、小学校第3学年以上の児童を対象としたため、「学年別漢字配当表」に照らして第3学年の児童が読めるようルビを振るなどしたが、児童の知識や語彙にも配慮した問題作成が必要である。

検定問題の中で提示した写真、特設したマスコットキャラクター「ハクチョ博士」などは、児童にとって「わかりやすさ」とともに「親しみやすさ」も感じられるものであったようである。これらのさらなる活用も検討したい。

(3)「検定問題」の趣旨を明確化することの必要性

「千代田区子ども検定」は、いわゆる「ご当地検定」のジュニア版であり、地域の文化、歴史、自然などが問われるものである。児童にとっては、社会科の地域学習の一環と考える者もいるだろう。しかし、検定問題は、学力を測定するテストではない。検定問題で取り上げられている内容に興味・関心が高まることを意図するものであるが、児童の中には検定問題がテストの延長線上にあるものと受けとめ、何らかの抵抗や困難を感じている者もいるようである。

そのため、「千代田区子ども検定」の趣旨を児童にわかりやすく伝え、ここで得た知識や情報を生活に生かしていこうとする意識、意欲を喚起できるよう改善する必要がある。

Ⅲ 本年度の研究

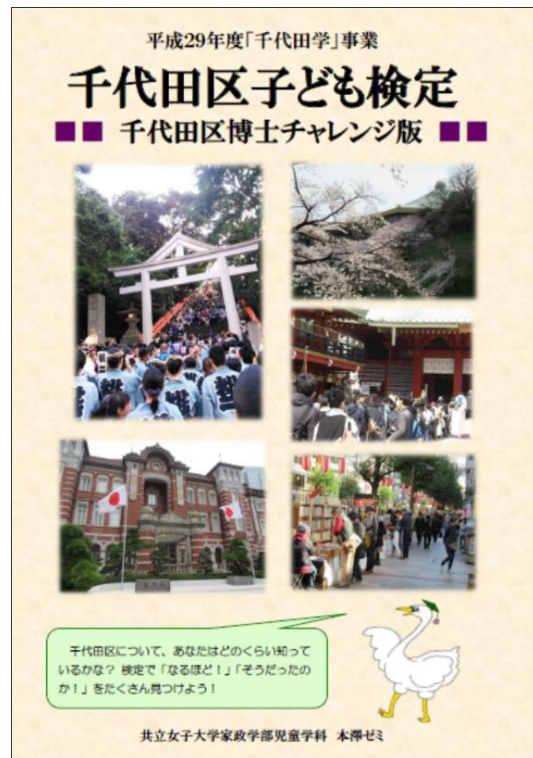
1 「千代田区博士チャレンジ版」の構成

本年度は、検定問題 50 問を収録した B 5 版の冊子を作成した。

検定問題作成に当たっては、前年度の研究により明確になった課題（①検定問題に盛り込む情報の質、②児童の側に立った検定問題作成、③検定問題における固有名詞、難語句等の提示）をふまえ、これを解決すべく問題の吟味を重ねた。

また、児童の中には検定問題がテストの延長線上にあるものと受けとめ、何らかの抵抗や困難を感じている者も見られたため、「テスト色」を感じさせない紙面構成を検討した。

本冊子は、区立お茶の水小学校第3～6学年児童に配付し、うち第3～5学年を対象に調査を行った。実際の検定問題については、巻末の資料編に収めた「千代田区子ども検定 千代田区博士チャレンジ版」を参照された。



(1) 「なるほどメーター」の特設

「なるほどメーター」とは、本年度作成した「千代田区子ども検定・千代田区博士チャレンジ版」において特設したものである。児童がそれぞれの問題を解き、解説を読んだ後、知識や情報を初めて得たり、内容に対する興味・関心が高まったりしたかどうか、0から100で数値化できるようにしている。（次ページ太枠の箇所）

これは、児童の「なるほど」という満足度を測ると同時に、児童による検定問題の評価ととらえることもできる。すなわち、この「なるほどメーター」を集約することにより、児童の興味・関心の傾向を把握することができ、今後の検定問題の改善にも役立てることが期待できると考えた。

第38問

むずかしさ

★★★

「東京の桜が咲きました」というニュースは、その土地の基準となる特定の木の状態を見て発表されています。その基準となる木のことを「標本木」といい、47都道府県すべてで決められています。では、東京都の標本木はどこにあるでしょう。

- ① 皇居
- ② 北の丸公園
- ③ 靖国神社
- ④ 日枝神社



「桜の標本木」のかんばん

靖国神社にあるソメイヨシノが東京の標本木とされ、5～6輪咲くと開花、8割が咲くと満開となります。一般の人でも自由に見ることができる桜なので、みなさんも実際に見に行き、「東京の桜はいつ咲くのかな」と確かめてみてくださいね。



靖国神社「桜の標本木」

ここで一句 5輪咲き春のおとずれ知らせてる



なるほどメーター



【正解 ③ 靖国神社】

(2) 「『千代田区子ども検定』を受けて」欄の特設

検定冊子の巻末に、自由記述のアンケートを特設した。

「なるほどメーター」の数値とともに、検定問題を体験することによって児童の意識がどのように変容しているかを把握するためのものである。

「千代田区子ども検定」を受けて

| | |
|------------------------------------|--|
| 行ってみたくなった場所 は？ | |
| 参加してみたくなったイ ベントは？ | |
| 家族や検定を受けていな い友達に教えてあげたい ことは？ | |

「千代田区子ども検定」を最後までといてくれてあり
がとう！！

検定を受けて、行ってみたくなった場所や参加して
みたくなったイベントはあったかな。

これからも、千代田区のすてきなところをたくさん
発見して、みんなに伝えてね。



2 「なるほどメーター」による児童の意識

(1) 「なるほど値」の集計結果

児童が各問の「なるほどメーター」に記入した数値を集計し、以下のような結果を得た。

表1は、各問の「なるほど値」を学年別に集計したものである。

また、学年による「なるほど値」の大きいものから順に並べ替えたのが、表2～4である。表5は、学年を通した「なるほど値」をまとめている。

表1 3～5学年児童回答の「なるほど値」

| 問題番号 | 内 容 | 3年 (n=35) | 4年 (n=42) | 5年 (n=40) | 3～5年 (n=117) |
|------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| 1 | 区の人口 | 65.9 | 66.9 | 55.0 | 62.5 |
| 2 | 「千代田」の由来 | 66.9 | 75.5 | 62.4 | 68.4 |
| 3 | 区の花 桜 | 51.0 | 52.4 | 48.3 | 50.5 |
| 4 | 姉妹都市 | 68.1 | 64.3 | 47.4 | 59.7 |
| 5 | 区の面積 | 64.4 | 71.2 | 63.8 | 66.6 |
| 6 | 区の木 松 | 57.6 | 69.0 | 59.1 | 62.2 |
| 7 | 千代田区歌 | 60.3 | 66.1 | 45.5 | 57.3 |
| 8 | ちよくる | 46.1 | 59.5 | 45.4 | 50.7 |
| 9 | 区の鳥 白鳥 | 60.4 | 67.3 | 57.6 | 61.9 |
| 10 | 皇居の郵便番号 | 65.6 | 76.8 | 64.1 | 69.1 |
| 11 | 千代田区との隣接区 | 51.4 | 56.5 | 52.9 | 53.8 |
| 12 | 一口坂（読み方） | 75.7 | 72.4 | 60.8 | 69.4 |
| 13 | 気象科学館 はれるん | 60.4 | 69.6 | 52.3 | 60.9 |
| 14 | 竹橋 | 61.6 | 65.6 | 65.8 | 64.4 |
| 15 | 秋葉原小売店 | 59.0 | 62.5 | 48.5 | 56.7 |
| 16 | 東京国際フォーラム | 57.9 | 66.0 | 53.9 | 59.4 |
| 17 | 最高裁判所 | 69.0 | 73.0 | 53.6 | 65.2 |
| 18 | 聖橋 | 62.6 | 62.4 | 49.3 | 57.9 |
| 19 | 男坂・女坂 | 38.1 | 53.9 | 42.3 | 45.2 |
| 20 | 和田倉噴水公園 | 55.4 | 66.7 | 52.4 | 58.4 |
| 21 | インド大使館 | 61.8 | 73.0 | 52.9 | 62.8 |
| 22 | 昭和館 | 55.4 | 62.4 | 58.3 | 58.9 |
| 23 | 幽霊坂 | 67.0 | 59.1 | 48.5 | 57.8 |
| 24 | 滝沢馬琴 | 64.1 | 61.8 | 58.4 | 61.3 |
| 25 | 国立劇場 黒子 | 57.9 | 54.8 | 47.0 | 53.0 |
| 26 | まないた橋 | 63.6 | 69.0 | 50.8 | 61.2 |
| 27 | 日比谷公園の広さ | 70.4 | 76.0 | 61.8 | 69.4 |
| 28 | ニコライ堂・三菱一号館美術館 | 68.9 | 66.6 | 57.4 | 64.1 |

| | | | | | |
|----|--------------|------|------|------|------|
| 29 | イギリス大使館 | 67.3 | 63.0 | 53.0 | 60.8 |
| 30 | 和泉橋防災船着場 | 60.6 | 65.4 | 53.5 | 59.9 |
| 31 | 三崎稲荷神社 | 67.0 | 66.1 | 45.6 | 59.4 |
| 32 | 昌平坂（団子坂） | 64.9 | 66.7 | 59.3 | 63.6 |
| 33 | 佐久間公園 | 63.7 | 62.5 | 45.2 | 56.9 |
| 34 | 国会議事堂 | 65.6 | 69.0 | 60.5 | 65.1 |
| 35 | 神田神社神田祭 | 60.2 | 61.3 | 44.4 | 55.2 |
| 36 | 北の丸公園 ヒカリゴケ | 72.3 | 67.3 | 48.6 | 62.4 |
| 37 | 夏目漱石 | 49.4 | 45.8 | 35.6 | 43.4 |
| 38 | 靖国神社 標本木 | 61.4 | 69.0 | 55.8 | 62.2 |
| 39 | 東京駅 | 69.9 | 67.9 | 47.3 | 61.4 |
| 40 | 区の橋 | 75.6 | 73.2 | 60.3 | 69.5 |
| 41 | 御厩谷坂（読み方） | 70.4 | 70.8 | 56.8 | 65.9 |
| 42 | 皇居の広さ | 75.0 | 73.8 | 59.1 | 69.1 |
| 43 | 坂の名前（存在しない坂） | 72.9 | 68.5 | 55.1 | 65.2 |
| 44 | 学士会館 | 59.2 | 65.5 | 54.0 | 59.7 |
| 45 | 平河天満宮 | 63.1 | 76.8 | 57.6 | 66.2 |
| 46 | 楠木正成 | 70.6 | 69.1 | 56.1 | 65.1 |
| 47 | 神田古本街 書店の数 | 59.3 | 72.0 | 52.9 | 61.7 |
| 48 | 東京大神宮 | 70.1 | 71.4 | 70.0 | 70.6 |
| 49 | 東京宝塚劇場 ルパン三世 | 69.7 | 73.7 | 54.9 | 66.1 |
| 50 | 日本武道館 | 68.1 | 70.4 | 55.9 | 64.7 |

表2 3学年における「なるほど値」

| | 問題番号 | 内 容 | 「なるほど値」平均 |
|----|------|----------------|-----------|
| 1 | 12 | 一口坂（読み方） | 75.7 |
| 2 | 40 | 区の橋 | 75.6 |
| 3 | 42 | 皇居の広さ | 75.0 |
| 4 | 43 | 坂の名前（存在しない坂） | 72.9 |
| 5 | 36 | 北の丸公園 ヒカリゴケ | 72.3 |
| 6 | 46 | 楠木正成 | 70.6 |
| 7 | 27 | 日比谷公園の広さ | 70.4 |
| 8 | 41 | 御厩谷坂（読み方） | 70.4 |
| 9 | 48 | 東京大神宮 | 70.1 |
| 10 | 39 | 東京駅 | 69.9 |
| 11 | 49 | 東京宝塚劇場 ルパン三世 | 69.7 |
| 12 | 17 | 最高裁判所 | 69.0 |
| 13 | 28 | ニコライ堂・三菱一号館美術館 | 68.9 |
| 14 | 4 | 姉妹都市 | 68.1 |
| 15 | 50 | 日本武道館 | 68.1 |

| | | | |
|----|----|------------|------|
| 16 | 29 | イギリス大使館 | 67.3 |
| 17 | 23 | 幽霊坂 | 67.0 |
| 18 | 31 | 三崎稻荷神社 | 67.0 |
| 19 | 2 | 「千代田」の由来 | 66.9 |
| 20 | 1 | 区の人口 | 65.9 |
| 21 | 10 | 皇居の郵便番号 | 65.6 |
| 22 | 34 | 国会議事堂 | 65.6 |
| 23 | 32 | 昌平坂（団子坂） | 64.9 |
| 24 | 5 | 区の面積 | 64.4 |
| 25 | 24 | 滝沢馬琴 | 64.1 |
| 26 | 33 | 佐久間公園 | 63.7 |
| 27 | 26 | まないた橋 | 63.6 |
| 28 | 45 | 平河天満宮 | 63.1 |
| 29 | 18 | 聖橋 | 62.6 |
| 30 | 21 | インド大使館 | 61.8 |
| 31 | 14 | 竹橋 | 61.6 |
| 32 | 38 | 靖国神社 標本木 | 61.4 |
| 33 | 30 | 和泉橋防災船着場 | 60.6 |
| 34 | 9 | 区の鳥 白鳥 | 60.4 |
| 35 | 13 | 気象科学館 はれるん | 60.4 |
| 36 | 7 | 千代田区歌 | 60.3 |
| 37 | 35 | 神田神社神田祭 | 60.2 |
| 38 | 47 | 神田古本街 書店の数 | 59.3 |
| 39 | 44 | 学士会館 | 59.2 |
| 40 | 15 | 秋葉原小売店 | 59.0 |
| 41 | 16 | 東京国際フォーラム | 57.9 |
| 42 | 25 | 国立劇場 黒子 | 57.9 |
| 43 | 6 | 区の木 松 | 57.6 |
| 44 | 20 | 和田倉噴水公園 | 55.4 |
| 45 | 22 | 昭和館 | 55.4 |
| 46 | 11 | 千代田区との隣接区 | 51.4 |
| 47 | 3 | 区の花 桜 | 51.0 |
| 48 | 37 | 夏目漱石 | 49.4 |
| 49 | 8 | ちよくる | 46.1 |
| 50 | 19 | 男坂・女坂 | 38.1 |

表3 4学年における「なるほど値」

| | 問題番号 | 内 容 | 「なるほど値」平均 |
|----|------|----------------|-----------|
| 1 | 10 | 皇居の郵便番号 | 76.8 |
| 2 | 45 | 平河天満宮 | 76.8 |
| 3 | 27 | 日比谷公園の広さ | 76.0 |
| 4 | 2 | 「千代田」の由来 | 75.5 |
| 5 | 42 | 皇居の広さ | 73.8 |
| 6 | 49 | 東京宝塚劇場 ルパン三世 | 73.7 |
| 7 | 40 | 区の橋 | 73.2 |
| 8 | 17 | 最高裁判所 | 73.0 |
| 9 | 21 | インド大使館 | 73.0 |
| 10 | 12 | 一口坂（読み方） | 72.4 |
| 11 | 47 | 神田古本街 書店の数 | 72.0 |
| 12 | 48 | 東京大神宮 | 71.4 |
| 13 | 5 | 区の面積 | 71.2 |
| 14 | 41 | 御厩谷坂（読み方） | 70.8 |
| 15 | 50 | 日本武道館 | 70.4 |
| 16 | 13 | 気象科学館 はれるん | 69.6 |
| 17 | 46 | 楠木正成 | 69.1 |
| 18 | 6 | 区の木 松 | 69.0 |
| 19 | 26 | まないた橋 | 69.0 |
| 20 | 34 | 国会議事堂 | 69.0 |
| 21 | 38 | 靖国神社 標本木 | 69.0 |
| 22 | 43 | 坂の名前（存在しない坂） | 68.5 |
| 23 | 39 | 東京駅 | 67.9 |
| 24 | 9 | 区の鳥 白鳥 | 67.3 |
| 25 | 36 | 北の丸公園 ヒカリゴケ | 67.3 |
| 26 | 1 | 区の人口 | 66.9 |
| 27 | 20 | 和田倉噴水公園 | 66.7 |
| 28 | 32 | 昌平坂（団子坂） | 66.7 |
| 29 | 28 | ニコライ堂・三菱一号館美術館 | 66.6 |
| 30 | 7 | 千代田区歌 | 66.1 |
| 31 | 31 | 三崎稻荷神社 | 66.1 |
| 32 | 16 | 東京国際フォーラム | 66.0 |
| 33 | 14 | 竹橋 | 65.6 |
| 34 | 44 | 学士会館 | 65.5 |
| 35 | 30 | 和泉橋防災船着場 | 65.4 |
| 36 | 4 | 姉妹都市 | 64.3 |
| 37 | 29 | イギリス大使館 | 63.0 |
| 38 | 15 | 秋葉原小売店 | 62.5 |
| 39 | 33 | 佐久間公園 | 62.5 |
| 40 | 18 | 聖橋 | 62.4 |

| | | | |
|----|----|-----------|------|
| 41 | 22 | 昭和館 | 62.4 |
| 42 | 24 | 滝沢馬琴 | 61.8 |
| 43 | 35 | 神田神社神田祭 | 61.3 |
| 44 | 8 | ちよくる | 59.5 |
| 45 | 23 | 幽霊坂 | 59.1 |
| 46 | 11 | 千代田区との隣接区 | 56.5 |
| 47 | 25 | 国立劇場 黒子 | 54.8 |
| 48 | 19 | 男坂・女坂 | 53.9 |
| 49 | 3 | 区の花 桜 | 52.4 |
| 50 | 37 | 夏目漱石 | 45.8 |

表4 5学年における「なるほど値」

| | 問題番号 | 内 容 | 「なるほど値」平均 |
|----|------|----------------|-----------|
| 1 | 48 | 東京大神宮 | 70.0 |
| 2 | 14 | 竹橋 | 65.8 |
| 3 | 10 | 皇居の郵便番号 | 64.1 |
| 4 | 5 | 区の面積 | 63.8 |
| 5 | 2 | 「千代田」の由来 | 62.4 |
| 6 | 27 | 日比谷公園の広さ | 61.8 |
| 7 | 12 | 一口坂（読み方） | 60.8 |
| 8 | 34 | 国会議事堂 | 60.5 |
| 9 | 40 | 区の橋 | 60.3 |
| 10 | 32 | 昌平坂（団子坂） | 59.3 |
| 11 | 6 | 区の木 松 | 59.1 |
| 12 | 42 | 皇居の広さ | 59.1 |
| 13 | 24 | 滝沢馬琴 | 58.4 |
| 14 | 22 | 昭和館 | 58.3 |
| 15 | 9 | 区の鳥 白鳥 | 57.6 |
| 16 | 45 | 平河天満宮 | 57.6 |
| 17 | 28 | ニコライ堂・三菱一号館美術館 | 57.4 |
| 18 | 41 | 御厩谷坂（読み方） | 56.8 |
| 19 | 46 | 楠木正成 | 56.1 |
| 20 | 50 | 日本武道館 | 55.9 |
| 21 | 38 | 靖国神社 標本木 | 55.8 |
| 22 | 43 | 坂の名前（存在しない坂） | 55.1 |
| 23 | 1 | 区の人口 | 55.0 |
| 24 | 49 | 東京宝塚劇場 ルパン三世 | 54.9 |
| 25 | 44 | 学士会館 | 54.0 |
| 26 | 16 | 東京国際フォーラム | 53.9 |
| 27 | 17 | 最高裁判所 | 53.6 |

| | | | |
|----|----|-------------|------|
| 28 | 30 | 和泉橋防災船着場 | 53.5 |
| 29 | 29 | イギリス大使館 | 53.0 |
| 30 | 21 | インド大使館 | 52.9 |
| 31 | 11 | 千代田区との隣接区 | 52.9 |
| 32 | 47 | 神田古本街 書店の数 | 52.9 |
| 33 | 20 | 和田倉噴水公園 | 52.4 |
| 34 | 13 | 気象科学館 はれるん | 52.3 |
| 35 | 26 | まないた橋 | 50.8 |
| 36 | 18 | 聖橋 | 49.3 |
| 37 | 36 | 北の丸公園 ヒカリゴケ | 48.6 |
| 38 | 15 | 秋葉原小売店 | 48.5 |
| 39 | 23 | 幽霊坂 | 48.5 |
| 40 | 3 | 区の花 桜 | 48.3 |
| 41 | 4 | 姉妹都市 | 47.4 |
| 42 | 39 | 東京駅 | 47.3 |
| 43 | 25 | 国立劇場 黒子 | 47.0 |
| 44 | 31 | 三崎稻荷神社 | 45.6 |
| 45 | 7 | 千代田区歌 | 45.5 |
| 46 | 8 | ちよくる | 45.4 |
| 47 | 33 | 佐久間公園 | 45.2 |
| 48 | 35 | 神田神社神田祭 | 44.4 |
| 49 | 19 | 男坂・女坂 | 42.3 |
| 50 | 37 | 夏目漱石 | 35.6 |

表5 3～5学年における「なるほど値」

| | 問題番号 | 内 容 | 「なるほど値」平均 |
|----|------|--------------|-----------|
| 1 | 48 | 東京大神宮 | 70.6 |
| 2 | 40 | 区の花 | 69.5 |
| 3 | 27 | 日比谷公園の広さ | 69.4 |
| 4 | 12 | 一口坂（読み方） | 69.4 |
| 5 | 42 | 皇居の広さ | 69.1 |
| 6 | 10 | 皇居の郵便番号 | 69.1 |
| 7 | 2 | 「千代田」の由来 | 68.4 |
| 8 | 5 | 区の面積 | 66.6 |
| 9 | 45 | 平河天満宮 | 66.2 |
| 10 | 49 | 東京宝塚劇場 ルパン三世 | 66.1 |
| 11 | 41 | 御厩谷坂（読み方） | 65.9 |
| 12 | 43 | 坂の名前（存在しない坂） | 65.2 |
| 13 | 17 | 最高裁判所 | 65.2 |
| 14 | 46 | 楠木正成 | 65.1 |

| | | | |
|----|----|----------------|------|
| 15 | 34 | 国会議事堂 | 65.1 |
| 16 | 50 | 日本武道館 | 64.7 |
| 17 | 14 | 竹橋 | 64.4 |
| 18 | 28 | ニコライ堂・三菱一号館美術館 | 64.1 |
| 19 | 32 | 昌平坂（団子坂） | 63.6 |
| 20 | 21 | インド大使館 | 62.8 |
| 21 | 1 | 区の人口 | 62.5 |
| 22 | 36 | 北の丸公園 ヒカリゴケ | 62.4 |
| 23 | 6 | 区の木 松 | 62.2 |
| 24 | 38 | 靖国神社 標本木 | 62.2 |
| 25 | 9 | 区の鳥 白鳥 | 61.9 |
| 26 | 47 | 神田古本街 書店の数 | 61.7 |
| 27 | 39 | 東京駅 | 61.4 |
| 28 | 24 | 滝沢馬琴 | 61.3 |
| 29 | 26 | まないた橋 | 61.2 |
| 30 | 13 | 気象科学館 はれるん | 60.9 |
| 31 | 29 | イギリス大使館 | 60.8 |
| 32 | 30 | 和泉橋防災船着場 | 59.9 |
| 33 | 44 | 学士会館 | 59.7 |
| 34 | 4 | 姉妹都市 | 59.7 |
| 35 | 16 | 東京国際フォーラム | 59.4 |
| 36 | 31 | 三崎稻荷神社 | 59.4 |
| 37 | 22 | 昭和館 | 58.9 |
| 38 | 20 | 和田倉噴水公園 | 58.4 |
| 39 | 18 | 聖橋 | 57.9 |
| 40 | 23 | 幽霊坂 | 57.8 |
| 41 | 7 | 千代田区歌 | 57.3 |
| 42 | 33 | 佐久間公園 | 56.9 |
| 43 | 15 | 秋葉原小売店 | 56.7 |
| 44 | 35 | 神田神社神田祭 | 55.2 |
| 45 | 11 | 千代田区との隣接区 | 53.8 |
| 46 | 25 | 国立劇場 黒子 | 53.0 |
| 47 | 8 | ちよくる | 50.7 |
| 48 | 3 | 区の花 桜 | 50.5 |
| 49 | 19 | 男坂・女坂 | 45.2 |
| 50 | 37 | 夏目漱石 | 43.4 |

(2) 考察

「なるほどメーター」の集計結果から、児童の興味・関心の傾向を把握することができ、検定問題を作成する側にとって非常に意味のある数値を得ることができた。「なるほ

ど値」の高い問題をみると、以下のようなことが考察される。

①意外性のある内容

児童にとって、身近な話題ではあるが、今まで考えたことがなかったような内容に「なるほどメーター」の反応が高くなっている。例えば、以下のような問題である。

第40問

千代田区にはたくさんの橋があります。神田川にかかる橋だけでも、13本もあります。では、千代田区内にどのぐらい橋があるでしょう。(答え 52本)

千代田区には橋が多いが、だれしもそれと意識せず、橋を渡ったり川を眺めたりしている。橋の数を問われても戸惑うに違いないが、児童にとってはこれが意外性のある問題と感じられるのであろう。このような問題を通して、千代田区の地形にも意識が向いていくことを意図するものである。

第27問

ビジネス街のビルが立ちならぶ中、緑豊かな安らぎの場となっている日比谷公園。みなさんも、遊んだり、イベントに参加したりしたことがあるでしょう。

この日比谷公園の面積は千代田区内の小学校8校分と比べてどのぐらい広いでしょう。

(答え 千代田区の小学校8校分の4倍)

区内の小学生であれば、日比谷公園が広いと感じたことのある者は多いはずである。しかし、その広さは具体的に把握できていないわけではないただろう。自分たちの通う小学校と比較することにより、改めてその広さを実感することができるだろう。

②地名への興味

第2問

千代田区は、昭和22(1943)年に麹町区と神田区が合併して誕生しました。この「千代田」という名前は、どのようなことから決まったものでしょう。

(答え 江戸城の別の名前が千代田城だったことから)

第12問

千代田区の坂の中には、読み方がむずかしい坂もあります。「一口坂」は、何と読むのでしょうか。

(答え いもあらいざか)

地名への興味は高く、特に変わった読み方をする地名には興味・関心が集中する傾向が見られる。第41問「御厩谷坂」の読み方を問う問題も同様に高い「なるほど値」を示している。なぜそのような地名がつけられたのかを考えたり調べたりすることにより、史実

や地形の特徴にふれる機会にもなるだろう。

また、ここで知識を得た経験がさらに意識化されることも期待できる。例えば、区内の坂を歩いているときに「この坂は何という名前だろう」「そういえば千代田区には坂が多い」のように、個々の興味や意識が広がっていくなどである。

③初めて得た雑学的な知識・情報

第10問

千代田区の歴史、自然の中心となっている皇居。

みなさんの家の住所に郵便番号があるように、皇居にも郵便番号があります。では、皇居の郵便番号は、どのような番号でしょう。 (答え 100-0001)

第45問

これは、千代田区のある場所です。牛の石像が置かれています。

さて、この場所はいったいどこでしょう。

(答え 平河天満宮)



第48問

飯田橋駅の近くにある東京大神宮は、歴史的に貴重な神社として東京五社の一つに選ばれ、昔から多くの人に親しまれてきました。

この東京大神宮は、あることを初めて行った場所として知られています。それはどんなことでしょう。 (答え 神前式の結婚式)

第49問

千代田区有楽町には東京宝塚劇場があります。宝塚は、未婚の女性だけで構成された歌劇団で、大正3(1914)年に初公演を行って以来、人気を得ています。

宝塚劇場では、近ごろ、人気漫画やゲームを舞台化した公演を行い、話題となっています。では、実際に宝塚歌劇団が上演したことがある作品はどれでしょう。 (答え ルパン三世)

平河天満宮、東京大神宮、東京宝塚劇場などは、児童にとって馴染みのない場所であると考えられたため、できるだけ児童の生活に近い内容を取り上げて問題を構成するようにした。例えば、東京宝塚劇場の問題では、選択肢を「①ちびまる子ちゃん、②ゲゲゲの鬼太郎、③ルパン三世、④ワンピース」としたことにより、児童にとって親近感がわいたものと考えられる。問題の取り上げ方により、新たに興味や親しみをもたせることも可能であることを示す例である。

皇居から郵便番号の付番が始まることについての問題は、学年の差は見られるが、日頃

の生活と密着した内容であり、皇居のある区としての誇り、愛着なども高めることができるものであると考える。

3 検定を受けた児童の感想

(1) 検定によって喚起された興味・関心

検定によって喚起された興味・関心を把握するため、児童には「行ってみたい場所」「参加してみたいイベント」として自由記述してもらった。

検定問題に啓発されて「行ってみたい」と思うようになった場所は、表6に示す通り、多様な記述がなされている。この欄にこれだけ多くの記述がなされたことは、児童の印象に残る事柄の豊かさを示しているにとらえてよいだろう。

特に、上位の「幽霊坂」、「東京宝塚劇場」などは、検定問題によって興味・関心が喚起されたと確信できるものである。

「幽霊坂」については、「ちょっとこわい名前がついている坂もあります」と興味をひくような問題提示をしたことや、選択肢を「①化け物坂 ②妖怪坂 ③心霊坂 ④幽霊坂」としたことにより、児童の印象に焼き付き、どのような坂なのか実際に行ってみてみたいと思うようになったと考えることができる。

「東京宝塚劇場」への反応が集まっているのは、劇場で「ルパン三世」が上演されていることへの驚きや意外性が強く印象づけられ、実際に鑑賞してみたいと考えるようになったためであろう。東京宝塚劇場などは、児童の実生活にはやや疎遠であると考えられるため、検定問題作成にあたって苦慮する素材であるが、この例のように、児童の興味・関心にそった内容を見だし、問題として構成することによって、新鮮味のある問題として提供することも可能である。

また、「和田倉噴水公園」は、検定問題の中で紹介している噴水の画像が美しく、実際に見てみたいと考えるようになったようである。

「昭和館」、「皇居」などは、児童にとって社会科見学や校外学習などで出かけた経験があるはずであるが、検定で新たな情報を得たことにより、興味が喚起されたと考えることができる。

このように、検定問題は、その提示の仕方によって、児童の意識化、行動化の契機としてはたらく可能性を十分にもっていると考えてよいだろう。

表6 検定を受けて行ってみたいとなった場所

| | 問題番号 | 行ってみたいとなった場所 | 3年 | 4年 | 5年 | 計 |
|----|------|--------------|----|----|----|----|
| 1 | 23 | 幽霊坂 | 6 | 3 | 5 | 14 |
| 2 | 49 | 東京宝塚劇場 | 3 | | 5 | 8 |
| 3 | 20 | 和田倉噴水公園 | 2 | 5 | 1 | 8 |
| 4 | 22 | 昭和館 | 3 | 2 | 2 | 7 |
| 5 | 42 他 | 皇居 | 3 | 3 | 1 | 7 |
| 6 | 48 | 東京大神宮 | 3 | 1 | 2 | 6 |
| 7 | 26 | まないた橋 | 3 | 2 | | 5 |
| 8 | 13 | 気象科学館 | 2 | 3 | | 5 |
| 9 | 43 | ちこく坂 | 2 | 2 | | 4 |
| 10 | 39 | 東京駅 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 11 | 17 | 最高裁判所 | 1 | | 3 | 4 |
| 12 | 32 | 団子坂 | 2 | 1 | 1 | 4 |
| 13 | 25 | 国立劇場 | 1 | 3 | | 4 |
| 14 | 29 | イギリス大使館 | | 1 | 3 | 4 |
| 15 | 45 | 平河天満宮 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 16 | 34 | 国会議事堂 | | 1 | 2 | 3 |
| 17 | 35 | 神田神社 | | 2 | | 2 |
| 18 | 12 | 一口坂 | 2 | | | 2 |
| 19 | 31 | 三崎稲荷神社 | 1 | | 1 | 2 |
| 20 | 35 | 日枝神社 | 2 | | | 2 |
| 21 | 37 | お茶の水小学校 | 2 | | | 2 |
| 22 | 50 | 日本武道館 | | 1 | 1 | 2 |
| 23 | 43 | だるま坂 | | 2 | | 2 |
| 24 | 21 | インド大使館 | | 1 | 1 | 2 |
| 25 | 24 | 滝沢馬琴硯の井戸跡 | 2 | | | 2 |
| 26 | 33 | 佐久間公園 | 1 | 1 | | 2 |
| 27 | 19 | 男坂・女坂 | | 1 | 1 | 2 |
| 28 | 41 | 御厩谷坂 | 1 | | | 1 |
| 29 | 43 | ごみ坂 | 1 | | | 1 |
| 30 | 28 | ニコライ堂 | 1 | | | 1 |
| 31 | 18 | 聖橋 | 1 | | | 1 |
| 32 | 36 | 北の丸公園 | 1 | | | 1 |
| 33 | 44 | 学士会館 | | 1 | | 1 |
| 34 | 38 | 靖国神社 | 1 | | | 1 |
| 35 | 18 | 水道橋 | 1 | | | 1 |
| 36 | 28 | 三菱一号館美術館 | 1 | | | 1 |
| 37 | 16 | 東京国際フォーラム | 1 | | | 1 |
| 38 | 15 | 秋葉原電気街 | 1 | | | 1 |
| 39 | 27 | 日比谷公園 | | | 1 | 1 |
| 40 | 18 | 二重橋 | | | 1 | 1 |

| | | | | | | |
|----|----|--------------|--|--|---|---|
| 41 | 11 | 文京区 | | | 1 | 1 |
| 43 | | 千代田区のいろいろな場所 | | | 1 | 1 |
| 44 | | 千代田区のいろいろな坂 | | | 1 | 1 |

下の表7は、検定を受けて、参加してみたくなくなったイベントを自由記述してもらった結果である。

本検定の協力校の近くに神田神社があるため、「神田祭」を挙げている児童が多いことには納得がいく。これは、初めて知ったというよりも、検定を通して、身近な神社で行われている祭の価値を再認識したととらえてよいだろう。神田神保町の「古本まつり」なども、学区から近い場所で開催されているイベントであることから、親しみがわいたと考えられる。

「最高裁判所」は、児童にとって抵抗を感じやすい素材であることが予想されたため、「法の日」の記念撮影というイベントを取り上げて検定問題を構成した。こうした配慮が、児童の興味・関心の喚起につながったと考えられる。

「日枝神社 山王祭」や「靖国神社 みたままつり」などは、選択肢の一つとして掲げているだけであるが、参加してみたいと答えている児童が見られることから、選択肢に掲げる示す内容への配慮も落としてはならない点である。

表7 参加してみたくなくなったイベント

| | 問題番号 | イベント | 3年 | 4年 | 5年 | 計 |
|----|------|--------------------|----|----|----|----|
| 1 | 35 | 神田祭 | 2 | 4 | 6 | 12 |
| 2 | 47 | 古本まつり、ブックフェスティバル | 3 | 3 | 3 | 9 |
| 3 | 17 | 最高裁判所 裁判官の服を着て記念撮影 | 2 | 6 | 1 | 9 |
| 4 | 27 | 日比谷公園の盆踊り | 3 | 4 | 1 | 8 |
| 5 | 33 | 佐久間公園のラジオ体操 | | 4 | 3 | 7 |
| 6 | 30 | 神田川の川下り | 4 | 1 | 1 | 6 |
| 7 | 49 | 東京宝塚劇場の「ルパン三世」 | 3 | 1 | 1 | 5 |
| 8 | 16 | 東京国際フォーラム | 2 | 3 | | 5 |
| 9 | 35 | 日枝神社 山王祭 | 1 | | 3 | 4 |
| 10 | 21 | インド大使館のさくらフェスティバル | 1 | 2 | | 3 |
| 11 | 31 | 三崎稲荷神社 百度石 | 1 | | 1 | 2 |

| | | | | | | |
|----|----|--------------|---|---|---|---|
| 12 | 22 | 昭和館 | | 1 | 1 | 2 |
| 13 | 25 | 国立劇場 | 1 | | | 1 |
| 14 | | 千代田区のお祭り | 1 | | | 1 |
| 15 | 29 | イギリス大使館のお花見 | 1 | | | 1 |
| 16 | 19 | 男坂・女坂 | 1 | | | 1 |
| 17 | 46 | 楠木正成像 | 1 | | | 1 |
| 18 | | 自然にふれられるイベント | | 1 | | 1 |
| 19 | 35 | 靖国神社 みたままつり | | | 1 | 1 |

(2) 新たに得た知識・情報

誰しも、初めて知ったこと、なるほどと思ったことなどは、だれかに知らせたくなるものである。そこで、「家族やこの検定を受けていない友達に教えてあげたいこと」として自由記述してもらい、児童の印象に残る情報を把握することを意図した。下の表8が示すように、検定の冊子のそれぞれのページで記入した「なるほどメーター」とはまた異なる、個々にとって印象深い内容が挙げられている。

また、「千代田区には坂が多い」などは、「坂」についての複数の問題を解くことによってはじめて理解できる内容であるが、これは児童による情報の総合化であり、単に1問ずつ解いていくだけでは得られない価値ある学びである。検定問題を作成する側も、こうした学びにも期待して、総合的な観点も見据えて問題構成を考えていく必要がある。

さらに、「この検定問題を解いてみたら」と勧めるような記述も見られ、こうした反応は作成者にとって手ごたえを実感させられるものであった。

表8 家族や検定を受けていない友達に教えてあげたいこと

| | 内 容 | 3年 | 4年 | 5年 | 計 |
|----|----------------------|----|----|----|---|
| 1 | 一口坂の読み方 | 1 | 4 | 1 | 6 |
| 2 | 千代田区の橋の数 | | 3 | 2 | 5 |
| 3 | 日本武道館の屋根の形 | 2 | 2 | 1 | 5 |
| 4 | 北の丸公園の天然記念物(ヒカリゴケ) | | 2 | 2 | 4 |
| 5 | まないた橋があったこと | 2 | 1 | 1 | 4 |
| 6 | 東京駅 | 1 | | 3 | 4 |
| 7 | 幽霊坂 | 2 | | 1 | 3 |
| 8 | 学士会館は野球発祥の地 | 1 | 2 | | 3 |
| 9 | 国会議事堂を作るのにおおぜいが働いたこと | 2 | | 1 | 3 |
| 10 | 三崎稻荷神社 | | 3 | | 3 |

| | | | | | |
|----|---------------------------|---|---|---|---|
| 11 | いろいろなことがわかるから検定をやってみてください | 3 | | | 3 |
| 12 | 千代田区には皆が知らないことがたくさんある | | 2 | 1 | 3 |
| 13 | 千代田区にはいろいろな場所や祭りがあり楽しい | 1 | | 1 | 2 |
| 14 | 昭和館 | 1 | 1 | | 2 |
| 15 | 竹橋の由来 | | 1 | 1 | 2 |
| 16 | 東京宝塚劇場（ルパン三世） | 2 | | | 2 |
| 17 | 問題にでてきたもの全部 | 1 | | 1 | 2 |
| 18 | 最高裁判所の記念撮影 | | | 1 | 1 |
| 19 | 東京大神宮 | | | 1 | 1 |
| 20 | 皇居の広さ | | | 1 | 1 |
| 21 | 坂の名前がおもしろいこと | 1 | | 2 | 3 |
| 22 | 千代田区は23区の中で19番目に大きい | 1 | | | 1 |
| 23 | この検定は結構難しい | | 1 | | 1 |
| 24 | 千代田区の歴史を家族に伝えたい | 1 | | | 1 |
| 25 | 神保町の本屋の数 | | 1 | | 1 |
| 26 | 千代田区には坂が多い | | | 1 | 1 |
| 27 | ごみ坂 | 1 | | | 1 |
| 28 | 古本祭り | 1 | | | 1 |
| 29 | 団子坂 | | 1 | | 1 |
| 30 | 千代田区のいろいろな場所 | | 1 | | 1 |
| 31 | 千代田区のいろいろな文化 | | | 1 | 1 |
| 32 | この本はたくさんいい検定クイズがのっているよ | | | 1 | 1 |
| 33 | 気象科学館のはれるん | | | 1 | 1 |
| 34 | 楠木正成の像があること | | | 1 | 1 |
| 35 | 夏目漱石はお茶の水小学校出身であること | | | 1 | 1 |

IV 研究の成果と課題

昨年度の「千代田区子ども検定」の第一次案をふまえ、本年度は検定問題 50 問からなる「千代田区博士チャレンジ版」を作成・発信することができた。作成・発信の過程および結果から、以下の点を明らかにすることができた。

1 児童の興味・関心を喚起する検定問題の作成

本年度の検定問題に「なるほどメーター」を設定し、児童の反応を把握することができた。特に、意外性のある内容、地名への興味・関心、初めて得た雑学的な知識・情報に「なるほど値」が高くなるという結果をふまえ、今後、検定問題として取り上げる内容の検討を重ねていく必要があることが確認された。

また、検定を受けた児童の感想から、問いの設定によって興味・関心が大きく左右されることが確認された。例えば、日頃、気にとめることのない「坂」の名前に着目できるように問いを吟味することにより、児童はその坂に実際に行ってみたいと思うようになる、という変容が期待できる。児童の目線に立って、そこで行われているイベントを紹介すれば参加してみようとする関心が高めることもできるはずである。

当然のことではあるが、検定問題は、出題する側の配慮、意図によって、さらに意義あるものにすることができる。本年度の研究によって、地域検定の可能性をより明確に見出すことができたと考える。

2 検定問題と学習指導の関連

これまで、検定問題の作成・発信にあたって、千代田区教育委員会、千代田区内小学校の協力をいただいていた。今後は、この検定問題の活用場面の一つとして、小学校における教科等の学習指導との連携についても検討していきたいと考える。

この検定を、社会科の学習が開始される 3 学年の導入として、あるいは総合的な学習の時間で「地域」をテーマとしようとする際の一つの教材として、教育現場で活用していただけるよう、学習指導事例なども合わせて作成していく予定である。

3 特設ホームページにおける公開

本研究の最終年度にあたる次年度は、これまでに作成した検定問題の発信の場として、特設ホームページでの公開を計画している。そのため、検定問題の情報としての確かさを

これまで以上に精査していく必要がある。

現在、来年度の発信に向けて、ホームページの構成やデザインを検討を進めている段階である。難語句や漢字などへの抵抗から、児童が検定問題を敬遠することも考えられるため、音声ボタンを付設して音読を聞くことができるようにする工夫などを盛り込んでいく予定である。先行事例などを参考に、児童にとって楽しく興味のもつことができる検定問題のあり方についてさらに検討を重ね、児童の郷土意識の醸成に役立つ検定とするための方策を明らかにしていく必要がある。

参考文献

- ・千代田区区民生活部編『千代田まち事典－江戸・東京の歴史を訪ねて－』2005
- ・千代田区教育委員会『社会科副読本 わたしたちの千代田区』2014
- ・千代田区観光協会企画・奥野かるた店監修『千代田区“川柳”絵葉書かるた』2014
- ・千代田区観光協会『千代田あるき地図マップ&ガイド』
- ・千代田区ホームページ <https://www.city.chiyoda.lg.jp/index.html>
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 社会編」2008
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」2008
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 社会編」2017
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」2017
- ・秋沢富五郎、原昇「地域素材の教材化に関する基礎研究－素材の掘り起こしについて検討－」神奈川県立教育センター研究集録6、pp.7-12、1987
- ・伊藤重男『「ご当地検定」に関する実証研究：財団法人地域活性化センター『地域の魅力を発信するご当地検定調査研究報告書』を用いた実証的分析』名古屋経営短期大学紀要 51、pp.1-13、2010
- ・京都商工会議所編『新版 京都・観光文化検定試験公式テキストブック』淡交社、2016
- ・京都市教育委員会『歴史都市・京都から学ぶ ジュニア京都検定テキストブック(10版)』京都新聞出版センター、2015
- ・鎌倉商工会議所監修『新版 鎌倉観光文化検定公式ガイドブック』かまくら春秋社、2011
- ・秋田県商工会議所連合会『秋田ふるさと検定公式テキスト最新版』秋田文化出版、2016
- ・茨城県立歴史館編集『輝く茨城の先人たち』茨城県生活環境部、生活文化課、2016
- ・「いばらきっ子郷土検定ウェブサイト」www.ibaraki-kentei.jp/
- ・ジュニアかなざわ検定実行委員会「第11回ジュニアかなざわ検定小学生版」2016
- ・島田市地域生活部地域づくり課「島田市ご当地検定【子ども編】」2015
- ・「ゆるりら、十和田子ども検定」公式HP <http://www.towda.or.jp/kodomotentei/>

終わりに

これまでの研究を通じた成果と課題についてはすでに述べたとおりであるが、この事業を進める中でさまざまな収穫を得ることができた。

一つ目は、ゼミ生の意識の変容である。この研究に取り組むまでは、大学には通っているものの、千代田区について考えることなどほとんどなかった者ばかりである。区内のさまざまな行事などについても関心を示さなかったゼミ生が、積極的に区ホームページなどで情報を得、取材に出かけるようになった。また、「千代田区」の研究を通して、「地域」のもつ豊かな教材性に気づき、学生自らの郷土を取り上げて卒業研究にするなど、学生の意識の向上が非常に強く感じられた。

二つ目は、検定問題の実施を通して、児童の日常の生活、学習の状況をうかがい知ることができたことである。千代田区教育委員会、千代田区立小学校等からご協力いただくことができ、この研究が推進できたことを改めて感謝申し上げる次第である。自分たちが発信しようとしている情報が千代田区の小学生にふさわしいものであるか、多くの方々からのご意見をいただき、検討を重ねることができた。今後も、地元の皆様や先生方のご意見を積極的にいただき、研究に反映させていきたいと考えている。

三つ目は、研究のゴールがより具体的になってきたことである。研究の最終年度である来年度は、特設ホームページで検定問題を発信する計画である。現在は、それに向けて検定問題をより信頼のおける内容にする作業を進めるとともに、ホームページの構成の検討も始めている。多くの方々のお知恵やご意見をいただきながら、千代田区に貢献できる研究としていきたいと考えている。今後も、千代田区小学生の地域に対する誇り、愛着を高めるべく、ゼミ生とともに千代田区の地域素材の教材化を進めていきたい。

最後になりましたが、昨年度から引き続き「千代田学」を通して実践・研究を実施する貴重な機会を与えてくださいました千代田区及び研究にご理解・ご協力いただきました千代田区教育委員会、千代田区各小学校校長先生をはじめとする教職員の皆様、検定問題を解いてくださった児童の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月 本澤 淳子

平成29年度「千代田学」事業実績報告書

小学生を対象にした千代田区の地域素材の教材化に関する実践的研究

—「千代田区子ども検定」の作成・発信—

著 者 共立女子大学家政学部児童学科 本澤 淳子

発 行 共立女子大学家政学部児童学科 本澤研究室

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-27

T E L 03-3237-2857 (研究室直通)

発行年月 平成 30 年 3 月 10 日

* 無断での転載はお断りいたします